

外ヶ浜町大平山元 I 遺跡出土土器

杉野森 淳子¹⁾・齋藤 岳²⁾

Potterys from the Odai-Yamamoto- I Site in Sotogahama Town
SUGINOMORI Junko, SAITO Takashi

キーワード：無文土器片、縄文土器、縄文時代、草創期、大平山元 I 遺跡

はじめに

外ヶ浜町大平山元 I 遺跡は、昭和 50 (1975) 年・51 (1976) 年に当館で発掘調査を行っている。その際に旧石器時代の特徴を持つ石器とともに、複数の無文土器片が伴って出土した。あわせて縄文時代の特徴的な石器である石鏃 2 点も出土した。これは、日本列島の縄文時代の始まりを考える上で重要な調査結果であった。現在でも旧石器時代の終焉と縄文時代の開始については研究課題であり、その基準や年代観については新たな見解が提示されている。

この発掘調査の成果は、調査速報として昭和 51 年の『青森県立郷土館調査研究年報第 2 号』で「大平山元遺跡調査概要」を報告し（以下、本文では「概要」と明記する）、昭和 54 (1979) 年には『大平山元 I 遺跡発掘調査報告書』青森県立郷土館調査報告書第 5 集(考古-2)にて本報告を行っている（以下、本文では「報告書」または「当館報告書」として明記する）。当館報告書には、土器の形が捉えられる口縁部と底部の破片などの土器片 10 点が掲載されている。この土器片 10 点は、報告書に掲載された石器とともに平成 30 (2018) 年に県重宝（青森県指定文化財）となっている。縄文時代開始期の無文土器片については、近年刊行されている発掘調査報告書には、形状が明確に特定されない小さな破片も掲載されていることから、今回本遺跡の未報告の土器片の整理を行った。

1. 出土土器片の現状

当遺跡で最初に土器片が出土したのは、昭和 50 年の試掘調査時である。概要には「ローム層中より 2 片出土した。同一個体と推察されるもので、うち 1 点は口縁部片である。」と記載されている。土器片は出土した順に P-1・2 とされ、概要の図 4 遺物散布状況には F-6 グリッドに出土地点が印されている。3 年後に刊行された報告書の 15 頁本文の調査経緯では「11 月 3 日 F-2 で 2 点の無文の土器片が出土したことである。これを契機としてより細心に調査を進めたが、土器片はこの 2 点の他検出することはできなかった。」「同一個体と考えられる 2 点の土器細片を検出した」と昭和 50 年の調査状況が記されている。

昭和 51 年の調査では、試掘時の 2 点と区別するため、土器には 4 桁の番号 (P1001~) を出土した順に付し、調査図面には P1056 までの 1 点ごとの出土地点が記録されている。

報告書 40 頁本文では土器について「本遺跡出土の土器は、全て小破片であり微細片を含めても 32 点しかない。このうち口縁部破片 9 点、底部破片は 2 点であるが、個体数は 7 個体を下らないようである。」と記載されている。報告書 17 頁の第 5 図遺物分布状況には、昭和 50 年の土器片 2 点を含む 58 ヶ所の土器の出土地点が印されているが、土器の番号は表記されていない。報告書 41 頁の写真 2 出土土器には口縁部片 8 点、底部片 1 点、胴部片 1 点の計 10 点が掲載されている。

現在、土器片は報告書掲載分 10 点を含め計 44 点ある。今回この 44 点について、これまでの図面や写真・メモを基に、土器に書かれた番号と出土地点の照合を行い、42 点の出土地点を確認した。報告書掲載 10 点のうち、写真 2-2 以外は 4 桁の土器番号が土器片に記されており、昭和 51 年の調査図面で出土地点がわかる。昭和 51 年出土土器片は小さな破片にも鉛筆で番号が記されており、取り上げ時の遺物カードが残っていることから地点を捉えることができた。

一方、写真 2-2 の口縁部片には番号が記されておらず、遺物カードもない。これは、調査時の記録と出土状況写真や土器の断面実測図から、昭和 50 年の P-2 であることを確認した。当遺跡で最初に見つかった土器片 P-1 は、『大平山元 I 遺跡の考古学調査』(1999 年)によると、出土した際に土器かどうかを確認するため割ったことが述べられている。当館報告書の記載では P-1 は P-2 (報告書写真 2-2) と同一個体の破片と捉えられている。P-1 は P-2 同様に土器片に番号が記されていない可能性もある。P-1 は割れていること、P-2 (写真 2-2) と同一個体であること、調査時の遺物カード等を手がかりに、番号が記されていない資料の中から、P-1 (図 2-18) に相当する資料を確認した。なお P-1 の調査時の出土状況写真はない。

1) 青森県立郷土館 学芸主幹 2) 青森県立郷土館 学芸課副課長・副参事 (〒030-0802 青森市本町二丁目 8-14)

図1は確認した土器番号を表記した土器片分布状況である。図2にはこれまで未報告の34点の写真と実測図を掲載している。なお図1の☆印は、土器として取り上げたが洗浄後に土器ではなく、石片や小石等と判明したものである。これらの土器番号は分布図・観察表には明記していない。

2. 土器片 (図2)

34点のうち、口縁部片2点、底部片1点、形状を推定できる胴部片5点の計8点を図化した(図2-11~18)。図2の土器片の番号は、報告書掲載分からの通し番号とし、11から付している。なお細片を含む図化していない26点は集合写真とし、写真は片面のみで報告している。これらは図化したものと区別するため、通し番号ではなく、調査時の土器番号(P4桁番号)のみを付した。

土器はすべて無文である。内面を平滑に整形されているものが多い。外面は剥落しているものが多く、内面と比べると整形された痕跡は明瞭ではない。炭化物がわずかに内面に付着している破片もある。

図2-11と18は口縁部である。図2-12は平底の底部片である。14は内面に炭化物が付着している。17は厚さから底部の可能性が高い。18の最初に発見された土器片P-1はわずかに口縁部が残っている。写真2-2(P-2)と同様に内面に炭化物が付着している。番号不明の2点(集合写真の①・②)は厚さや胎土状況から、図2-17・P1013・P1042と同一個体と考えられる。

また、写真2-4(P1038)と図2-14(P1001)は、土器の形状や内面に付着している炭化物から写真2-2(P-2)・図2-18(P-1)と同一個体と推測される。

おわりに

今回、土器片の詳細な出土状況図を初めて公開した。本来であれば報告書掲載分の土器をカラー写真と図で改めて掲載し、出土状況には石器を入れることで、本遺跡の様相をよりわかりやすく提示することができる。次回は、外ヶ浜町の調査時の資料も合わせて新たな分布を作成し報告したい。

参考文献

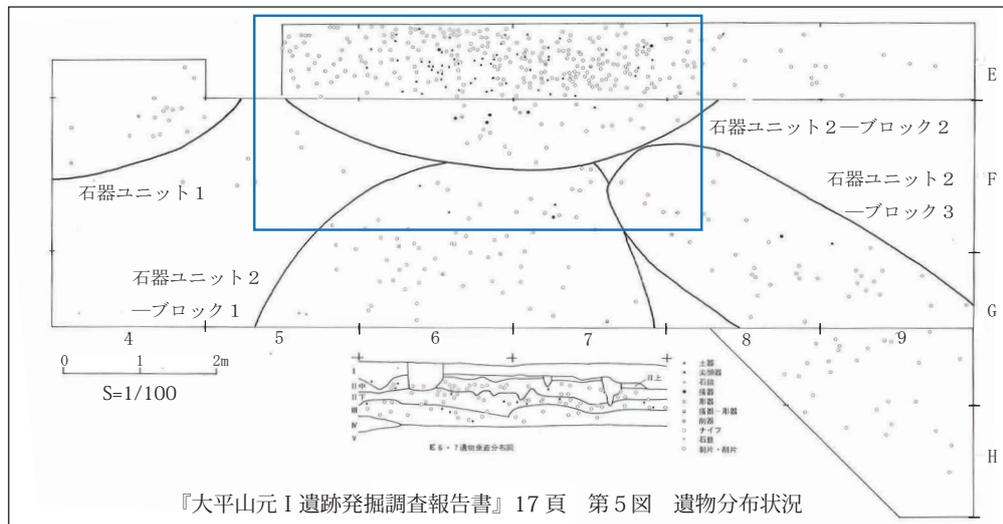
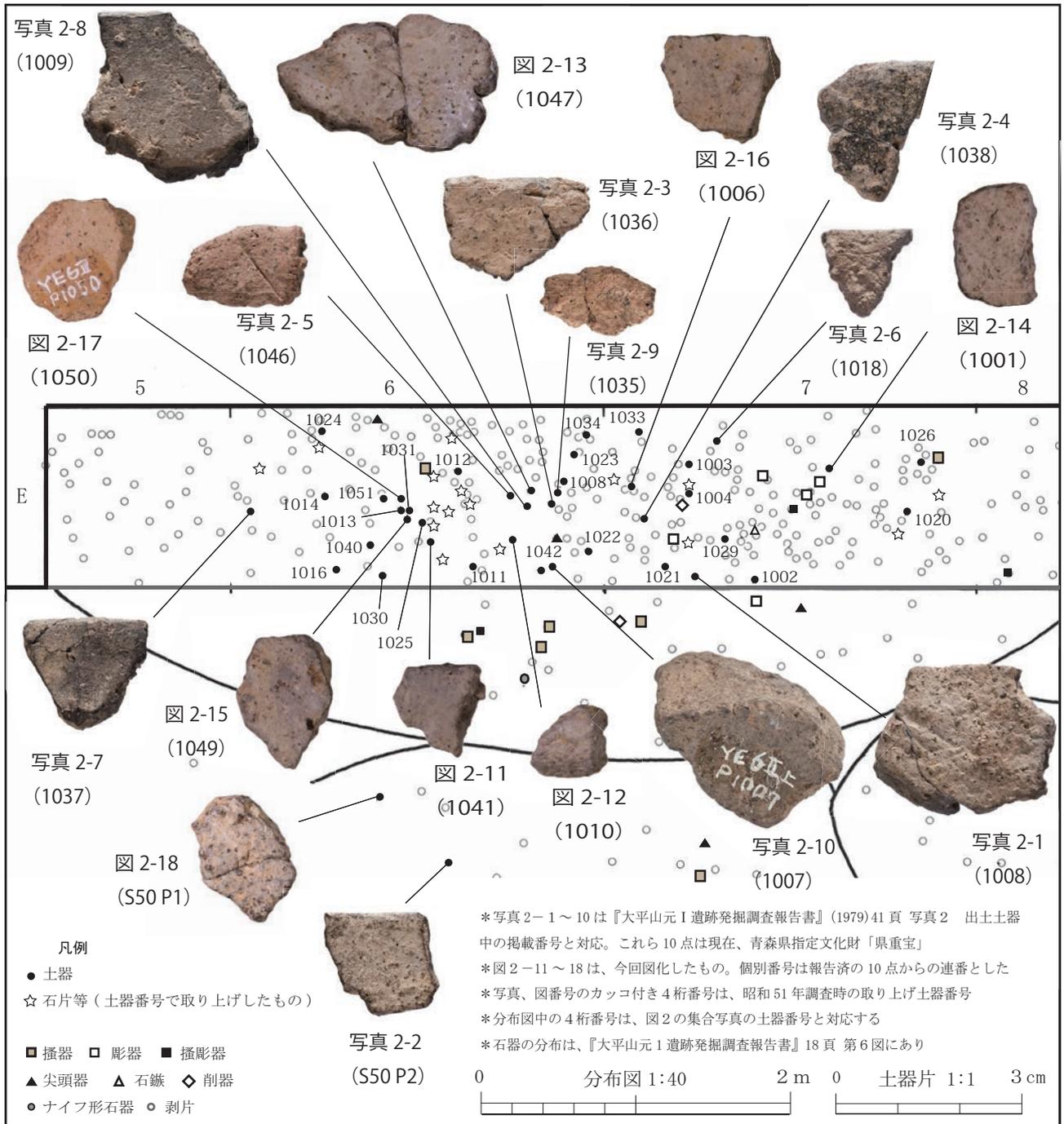
- 大平山元 I 遺跡発掘調査団 1999 『大平山元 I 遺跡の考古学調査』
 外ヶ浜町教育委員会 2006 『大平山元 I 遺跡』
 外ヶ浜町教育委員会 2009 『大平山元遺跡』
 外ヶ浜町教育委員会 2011 『大平山元』

土器片観察表① (報告書掲載分)

報告書 図版No.	P番号	グッド	層位	部位	色調		炭化物付着		法量 cm ()付きは推定値	備考
					内面	外面	内面	外面		
写真2-1	P-1048	E7	Ⅲ層	口縁部	2.5Y4/2	2.5Y6/3	×	×	長2.5 幅3.5 厚0.6	無文、上端わずかに凹面あり。口唇部に1条の沈線と見えていたのは、偽口縁の可能性あり。2片接合/県重宝
写真2-2	P-2	F6		口縁部	2.5Y3/2	2.5Y6/3	○	×	長1.8 幅1.8 厚0.4	無文、内面わずかに炭化物付着。昭和50年出土/県重宝
写真2-3	P-1036	E6	Ⅲ層	口縁部	10YR6/3	10YR6/3	×	×	長1.7 幅2.2 厚0.6	無文、口唇部一部剥落。2片接合/県重宝
写真2-4	P-1038	E7	Ⅲ層	口縁部	7.5YR6/2	7.5YR5/2	○	○	長1.3 幅1.9 厚0.4	無文、内外面わずかに炭化物付着。2片接合/県重宝
写真2-5	P-1046	E6	Ⅲ層	口縁部	7.5YR6/4	7.5YR6/4	×	×	長0.9 幅1.0 厚0.6 口唇部厚0.3	無文/県重宝
写真2-6	P-1018	E7	Ⅱ層下	口縁部	10YR5/2	10YR6/3	×	×	長1.4 幅1.5 厚0.5	無文/県重宝
写真2-7	P-1037	E6	Ⅲ層	口縁部	7.5YR4/1	10YR5/2	×	×	長1.9 幅1.1 厚0.6	無文、下端部やや肥厚。2片接合/県重宝
写真2-8	P-1009	E6	Ⅱ層上	口縁部	10YR3/1	2.5YR5/2	○	×	長2.8 幅2.8 厚0.7	無文、口唇部ミガキ光沢あり、内面に炭化物付着/県重宝
写真2-9	P-1035	E6		胴部	7.5YR5/6	7.5YR5/6	×	×	長1.2 幅1.8 厚0.6	無文、隆帯貼付か。2片接合/県重宝
写真2-10	P-1007	E6	Ⅱ層上	底部	2.5Y6/4	2.5Y6/4	×	×	高1.7 底部径(2.1) 底部厚1.0	無文、平底、底面際がわずかに張り出す/県重宝

土器片観察表② (本紙新規報告分)

No	P番号	グッド	層位	部位	色調		炭化物付着		法量 cm	備考
					内面	外面	内面	外面		
図2-11	P-1041	E6	Ⅲ層	口縁部	2.5Y6/2	2.5Y6/2	×	×	長1.5 幅1.5 厚0.5	無文
図2-12	P-1010	E6	Ⅱ層上	底部	10YR6/2	10YR6/2	×	×	高0.8 底径(0.8) 底部厚0.6	無文、平底
図2-13	P-1047	E6	Ⅲ層	胴部	2.5Y8/2	2.5Y8/2	×	×	長2.2 幅3.5 厚0.7	無文、器面に凹面あり。2片接合
図2-14	P-1001	E7	Ⅱ層上	胴部	2.5Y4/1	2.5Y7/3	○	×	長2.0 幅1.3 厚0.7	無文、胴部もしくは底部、肥厚部あり、破断面に凹面あり(粘土帯接合面か)、内面に炭化物付着
図2-15	P-1049	E6	Ⅱ層	胴部	2.5Y7/3	10YR6/2	×	×	長2.2 幅1.5 厚0.6	無文、上端粘土帯接合面か
図2-16	P-1006	E7	Ⅱ層上	胴部	10YR7/3	2.5Y7/3	×	×	長1.7 幅1.9 厚0.7	無文
図2-17	P-1050	E6	Ⅲ層	(底部)	10YR6/4	10YR6/4	×	×	長2.1 幅1.6 厚0.8	無文、底部か、厚手
図2-18	P-1	F6		口縁部	2.5Y3/2	2.5Y6/3	○	—	長2.1 幅1.7 厚0.5	平滑、口唇部剥落あり、外面剥落、内面に炭化物付着。昭和50年出土、写真2-2(P2)と同一個体。2片接合
図2	P-1002	E7	Ⅱ層上	—	10YR6/3	10YR6/3	○	○	長1.7 幅1.1 厚0.43	無文、表面平滑、整形痕あり、口縁と思われる平坦面あり、内外面わずかに炭化物付着
図2	P-1003	E7	Ⅱ層上	—	10YR6/4	10YR6/4	×	×	長0.7 幅1.1 厚0.45	無文、外面粗い
図2	P-1004	E7	Ⅱ層上	—	10YR6/3	10YR6/3	×	—	長1.2 幅1.1 厚0.3	外面剥落
図2	P-1008	E6	Ⅱ層上	—	10YR6/4	10YR6/4	×	×	長1.2 幅1.5 厚0.4	無文、内外面平滑、薄手
図2	P-1011	E6	Ⅱ層	胴部	2.5Y3/2	10YR6/4	○	×	長1.6 幅1.4 厚0.6	無文、内面炭化物付着、外面粗い
図2	P-1012	E6	Ⅱ層上	—	10YR6/3	10YR6/3	×	×	長1.0 幅1.5 厚0.45	無文
図2	P-1013	E6	Ⅱ層上	(底部)	7.5YR6/4	7.5YR6/4	×	×	長1.25 幅1.25 厚0.65	無文、ヘラ状工具による整形痕か
図2	P-1014	E6	Ⅱ層上	(底部)	10YR3/3	10YR6/3	○	×	長1.6 幅1.2 厚0.55	無文、内面炭化物付着、粘土接合面で割れか
図2	P-1016	E6	Ⅱ層上	胴部	10YR6/3	10YR6/3	×	—	長2.0 幅1.6 厚0.65	外面剥落
図2	P-1020	E7	Ⅱ層下	—	10YR6/3	10YR6/3	×	×	長0.8 幅0.6 厚0.6	無文
図2	P-1021	E7	—	—	2.5Y6/3	2.5Y6/3	×	×	長1.2 幅1.0 厚0.4	無文、縁辺摩耗
図2	P-1022	E6	Ⅱ層下	—	10YR5/3	10YR5/3	×	×	長0.6 幅0.5 厚0.4	無文
図2	P-1023	E6	Ⅱ層下	胴部	10YR6/2	10YR6/2	×	×	長1.3 幅1.6 厚0.5	無文、粘土接合面で割れか
図2	P-1024	E6	Ⅱ層上	—	10YR6/2	10YR6/2	×	×	長0.8 幅1.0 厚0.3	無文、内外面粗い
図2	P-1025	E6	Ⅱ層下	(底部)	10YR6/4	10YR6/4	×	—	長1.4 幅1.0 厚0.5	外面剥落、内面はヘラ状工具による整形痕か
図2	P-1026	E7	—	—	10YR6/3	10YR6/3	×	×	長0.7 幅1.1 厚0.5	無文、内外面平滑、脆い
図2	P-1029	E7	Ⅱ層下	—	10YR6/2	10YR6/2	×	—	長1.0 幅1.5 厚0.3	外面剥落。他に微細破片1点あり
図2	P-1030	E6	Ⅱ層下	—	10YR6/4	10YR6/4	×	×	長1.3 幅1.2 厚0.5	無文、外面粗い
図2	P-1031	E6	Ⅱ層下	—	10YR6/4	10YR6/4	×	×	長0.6 幅1.0 厚0.33	無文
図2	P-1033	E7	Ⅲ層	—	10YR6/3	10YR6/3	×	×	長0.5 幅0.5 厚0.35	無文
図2	P-1034	E6	Ⅲ層	—	7.5YR6/4	7.5YR6/4	×	—	長1.1 幅1.7 厚0.8	口縁部か、外面剥落、内面はヘラ状工具による整形痕か
図2	P-1040	E6	Ⅲ層	—	10YR7/3	10YR7/3	×	×	長1.0 幅0.7 厚0.4	無文、外面粗い
図2	P-1042	E6	—	—	10YR6/4	10YR6/4	×	×	長1.2 幅0.9 厚0.7	無文
図2	P-1051	E6	—	—	2.5Y4/2	2.5Y4/4	×	—	長1.2 幅1.0 厚0.3	外面剥落
図2	なし①		—	—	10YR6/4	10YR6/4	×	—	長1.0 幅1.2 厚0.65	外面剥落。地点不明
図2	なし②		—	—	10YR6/4	10YR6/4	×	—	長0.9 幅1.4 厚0.6	外面剥落。地点不明



上図)
左図の土器片が分布した青枠部分を拡大

図 1 土器片分布状況

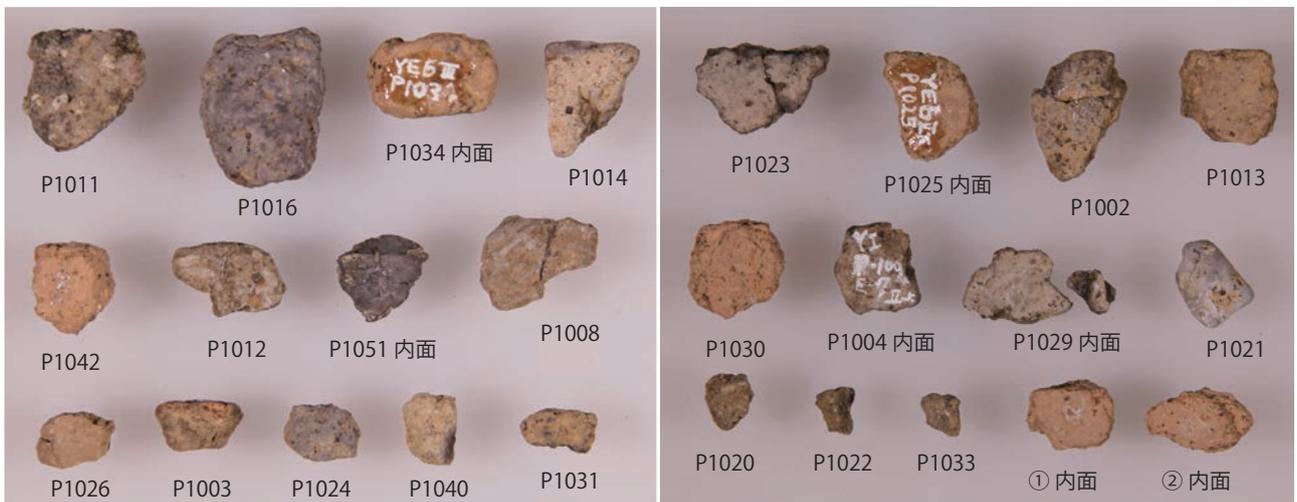
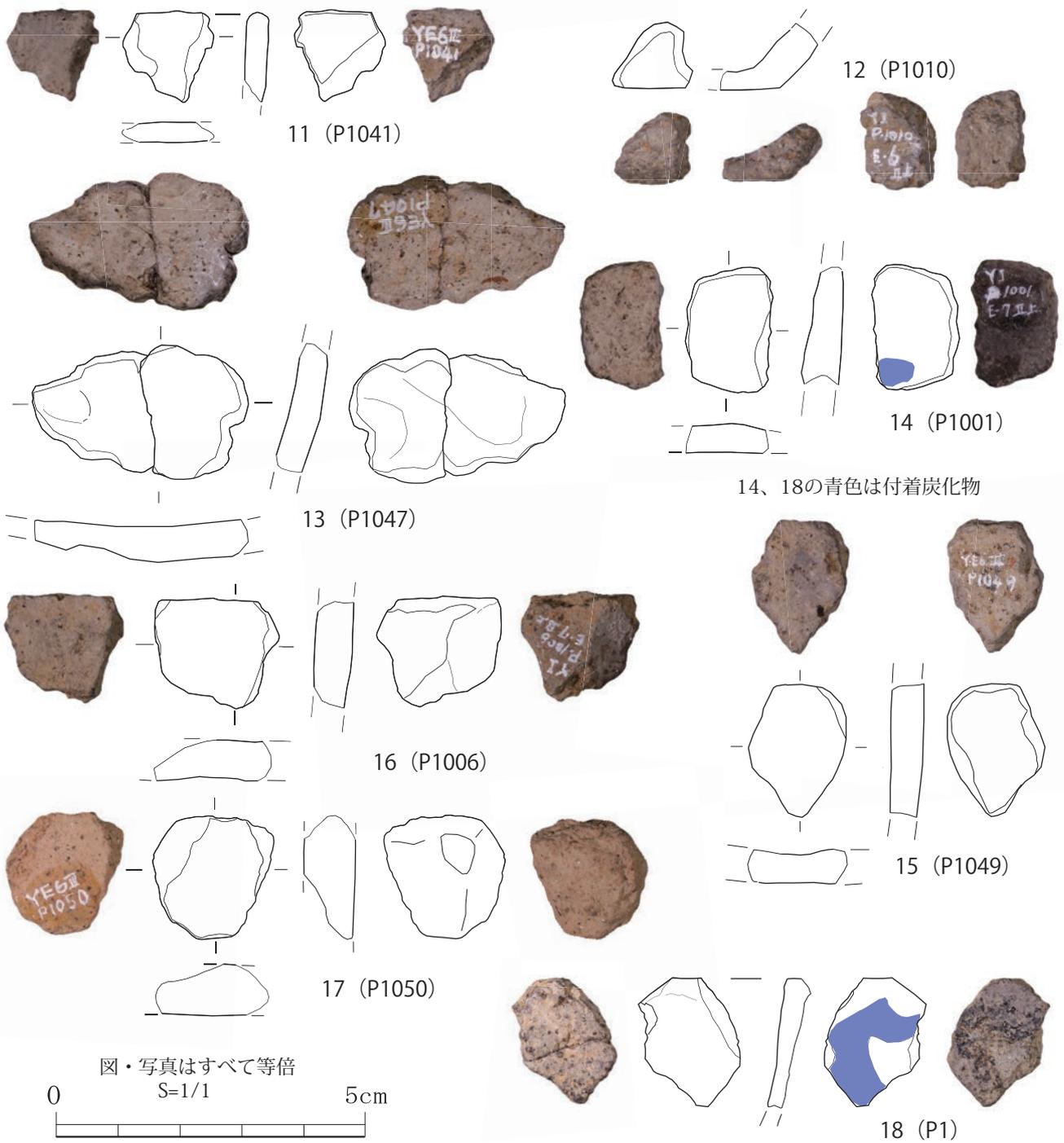


図2 土器片